

永年勤続 表彰者

15年勤続

向陽 株式会社サロンドユキ 早川 瞳
 下京 HAIR STUDIO ALIVE 西山涼子
 亀岡 なでしこ美容室株式会社 谷口年男

5年勤続

向陽 有限会社ステラ 中嶋輝幸 卯滝沙也加 富岡慎次
 株式会社サロンドユキ 澤田奈緒 佐藤奈都季
 株式会社にしはら 倉地雄介 大嶋夏実 芝田優馬 西中由香里
 亀岡 なでしこ美容室株式会社 木佐貴亜伊 齊藤紀公子 松本佳代
 綴喜 株式会社 hairs muraoka 山田真美子
 東山 リオ美容室 村上あかり 北 ヘアステージ O2 大川みなみ
 中京 ヘアーザ・vivi 河地利香 有限会社わかはやし美容室 岸田実季
 伏見 Befine 下川千尋 山本千尋



10年勤続

東山 リオ美容室 迫之上 桜 伏見 Befine 石渡幸治 勝見和也 飛松健司
 綴喜 株式会社 hairs muraoka 植松美香 橋本高志 永山 博 澤田啓輔
 亀岡 なでしこ美容室株式会社 碓山裕子 今中 彩 山田祐司 稲住 亮 森下容道
 宇治 有限会社わかはやし美容室 古庄佳代 須崎健介 仲下増美 外川順子 橋本あすか
 向陽 株式会社にしはら 小林美貴 福井翔太 高橋幸嗣 中多昭雄
 株式会社サロンドユキ 加藤絵美 野垣奈緒美 中多優紀 山口美香 藤本 剛
 有限会社ステラ 山形健太 角田菜々 早谷大地

敬称略 順不同

着付師社内検定合格者

上級 今里知子 なでしこ美容室株式会社 北 松向ふみ hair stage O2
 左京 仲村真喜子 プティットフルールしんみち 北 藤原 幸 hair stage O2
 伏見 田原千鶴子 TAHARA neo 北 大川みなみ hair stage O2
 宇治 宮川陽子 J&G
 中級 塚本知恵 ビューティ ツカモト 向陽 森脇千尋 (有) ステラ
 宇治 荒川菜摘 (有) ステラ 向陽 鈴木 愛 (有) ステラ
 向陽 中峯由美 セーヌ 山科 多川奈々子 ビューティマサ
 北 松本佳代 なでしこ美容室株式会社 山科 永福小百合 ビューティマサ
 亀岡 齊藤優子 やまぞえ美容室 山科 横田依子 ヘアメイク タンデュール
 丹後 堀家善恵 北 サロンアスパイアトゥ

敬称略 順不同

オリジナルツープ株式会社
 〒569-0824 大阪府高槻市川添 1-7-17
 フリーダイヤル 0120 (373) 961

[京都府美容組合] 会員様 基本葬儀料15%割引
 お葬式 家族葬 公益社
 ☎ 0120-004-200 公益社 京都 宇治 大津 検索
 ブライトホール
 北ブライツホール [堀川紫明] 山科ブライツホール [五条外環]
 中央ブライツホール [五条東山] 烏丸ブライツホール [烏丸高辻]
 南ブライツホール [油小路八条] 向島宇治ブライツホール [宇治横島]
 西ブライツホール [五条西大路] 大津ブライツホール [大津駅南]



明日の京都を描くため 京都府知事 山田 啓二

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

京都府では、林田・荒巻府政以来築き上げてきた社会基盤がいよいよ実を結ぶ時期となりました。昨年4月に新名神高速道路の城陽・八幡京田辺間が開通し、ついに京都は京丹後市から木津川市まで高速道路によってひとつに繋がりました。「海の京都」、「森の京都」と続き、昨年は「お茶の京都」事業により、南部地域全体に大変多くの人が訪れるとともに、北部地域では、美しい絹織物の地「丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定されるなど、観光面でも過去最高の賑わいとなり、府域全体が大きな盛り上がりを見せた一年となりました。

また、文化庁の全面的京都移転も正式に決定、移転場所も府庁の警察本部本館に決まり、名実ともに京都が「文化首都」と位置付けられ、文化芸術立国に向け大きな役割を担うことになった重要な節目の年となりました。しかしながら一方で、依然、我が国周辺で安全保障について大きな緊迫感が続くとともに、少子高齢化や東京一極集中の加速、子どもの貧困など様々な課題が改めて浮き彫りになった一年でもありました。

未来を切り拓く鍵

こうした背景には、少子高齢化や情報化、国際化の中で、家族形態も含め社会の多様化が進展することに對して、「地域の力」「自治の力」が低下し、旧来の制度や考え方で支えきれない局面が生まれてきたことがあげられると思います。

特に近年では、様々な格差の問題や孤立社会といわれる無関心時代の到来も指摘される中、京都府では、従来から地域力再生を掲げ、地域の絆などの新しい地域づくりの環境・土台を基に、半公半Xの公共員制度や地域の公民の生活機能を集めたコミュニティコンプレックスの整備、子ども食堂や居場所づくりのためのこともの城事業、さらに高齢化時代に医療、介護、福祉を連結させる地域包括ケアの推進、女性活躍から障害のある方の農業分野での活躍を支える農福連携など、幅

広く「共生社会」の実現に向け取り組みを進めてまいりました。

新しい時代へ

今年、「明治」への改元、そして京都府の設置から150周年にあたります。当時、京都では、多くの人や産業が東京へ移り、3分の1の人口が減少したため、千年にわたって都として栄えた京都は、かつてない大きな危機に直面しました。そのような激動の時代にあっても、京都府は、日本初の小学校（上京27番組（柳池）小学校）や女学校（新英学校および女紅場）、盲ろう学校（京都盲啞院）の開校、府立医科大学の前身である医学学校を療病院に付置、京都大学の前身である第三高等学校の大阪からの誘致、同志社大学の設置許可など人づくりを中心に府政を進め、さらに琵琶湖疏水の建設や経済界とも連動した京都博覧会の開催で産業の振興を図り、西陣織や茶業など様々な分野で新たな取り組みを進め、京都を復活させました。これが京都府政の原点であります。そうした先人たちの努力が今日の京都の礎を築いてきたのであり、そこには、どんなに困難なときも未来に投資をして、未来のために現代を生きる京都の気概があります。この150周年という節目を迎えるにあたり、今の京都の基盤が形作られてきた明治の時代を振り返り、常に先進的な取り組みを続けてきた先人たちの姿勢を受け継いで、新しい人づくりと文化力づくりによって京都の生き方が一層魅力あるものになるように、私たちは全力を挙げなければなりません。京都には今、年間8,700万人もの観光客が訪れており、世界的にも日本、そして日本文化のふるさと・京都への関心が高まっています。2019年から3年連続でラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と大規模な国際大会が開催されます。この機を捉え、「京都文化プロジェクト2016-2020」をはじめオール京都で力を合わせ、京都から日本の文化を発信し、大きな交流の渦が巻き起こるよう、全力を傾けてまいりたいと存じます。人と文化によって地域の資源、歴史、伝統を活かし、人と人が支え合う共生社会の実現により、地域の力を再び取り戻し、新たな時代を切り拓くため、共に歩んでまいりましょう。私は、この4月で任期を全うする予定ですが、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。